



2017年4月10日  
バイエル薬品株式会社

## 2012年・2013年の「服薬における患者様の嗜好に関するアンケート調査」 に関するご報告とお詫び

2012年および2013年にバイエル薬品株式会社が実施いたしました、血栓症領域製剤の服薬における患者様の嗜好に関するアンケート調査(以下、「本調査」といいます)において、本調査にご協力をいただきました患者様のカルテの一部をデータ転記のために特定の弊社社員が不適切に閲覧した事実があることが判明いたしました。本調査にご協力をいただきました患者様には深くお詫び申し上げます。

本調査は、同領域製剤の剤型や服薬の回数などについて、実際に製剤を服薬されている患者様への聞き取り調査により、服薬に関する嗜好を確認する目的で行った調査です。その結果は国内の医学誌に掲載されましたが、本調査にご協力をいただきました患者様のカルテの一部をデータ転記のために特定の弊社社員が不適切に閲覧していたこと、本調査の実施主体が弊社であることについて書面上、明確にされていなかったことなどから、2016年1月に医学誌より取り下げられ、同時に取り下げの事実が同誌誌面において公表されております。なお、本調査は嗜好に関するアンケート調査であり、臨床研究ではありません。

弊社は本件を真摯に受けとめ、その後、調査・研究への関与等に関するトレーニングおよび社内周知の徹底を図っております。今後、このような事態を二度と繰り返さぬよう、外部の専門家を交えて本件に関する事実関係および問題の原因・背景等を徹底的に検証した上で、結果を開示するとともに、社内審査の体制をより徹底し、社員への教育を一層強化してまいります。

以上